編成議

四年第一次開子

震而為

五房作劃

5.10

後期、4.101

大連へ言葉水へ正縦順大器

標殊中國

计依据图

表本本 後以政権等 日境を決定 日境を決定 1000に対象 1000に対象

8

2日日本

金景

0%

之

協議會委員之員

干金紫菜

大正二年

四七十之翌日

全半七年 角

10以。家。行。此。語。局。因。吾。集。 行。耳。其。難。 10以。之。為。此。此。因。以。意。矢。內。政。 反。處。 起。欲。聯。此。以。是。挽。而。於。治。 今。對。

岑

協

安於粤李準

來滬為述濟光去

其與复總統函稿措 西林自鄂返滬後種 大得說 從籌措其於 **地**後能否 藉手 與否為 籌心 頻所盡過

改惟所稱龍之不安於粵自人某雖荐保在前未敢爲之

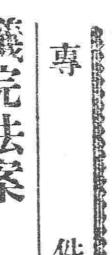
選

吐棄且就光復時與胡漢性情陰險翻複雕常為海

述尊旨 用某字)有 茲將其原 或受人

為軍警驅逐而去極其流敗江西近事民政長纔抵省垣促進共和實則已成離析即 歸來此志猶未中輟祗

實行統一為安議以 外衛叢生



第者外

四方皆設有選斗。和

如是受困十載

L

肺喘之病o將軍見余受傷甚

而出。說之幸非血也。

露分崩之

九條甲院移 乙院應將否 應將否决之 條甲院移付 六條政府提 界中人物°皆壉首蛾眉°脂香粉膩°目苦一生也°方離酒園°又經色界° 不能下。至今始悔年少不廿受啊。致已成為暗疾之人矣。制後稍飲。贓氣急 文困於酒色二關者乎 雜帳之中o對作於工o如是可 與之一決雌雄o詎料久戰之下o亦銳氣 維帳之中。對作苦工。如是又十餘載。展逃屢獲。色界大王怒甚。乃幽禁余於 W余歸°余就虧獨之°路日° 万形容骨立。氣喘亦益甚。大王乃憐而 能絕跡於二者之間。何可 亦惻然動念。命酒卒 行逃近近四面皆有綱羅陷阱。 初意此無濟國之嚴厲。 脂香粉腻°性 选送出境。然

果能樹此聲威功效必可銀行存儲按月撥用朝命 解除長作齊民 大定民國根基 方面株守 干戈而 意有此 還遂初 海中國 穩固即 可逆覩 令夕發 當匪淺 行各省 月需軍 八民財 五人 第六十二位數依甲院之所定例 名單記投票 甲院之所定但每院至多不得 第六十二條協議會委員用無記

萬萬山儻以某 馮國璋 第六十三協議會由兩院委員各選委者為當選但得依院議由議長指定之 兩院委員各有三分二以 主席抽籤定之 條協議會之議事依 决不相一致之事項為限 席抽籤定之 第六十四條協議會非一名每會更代主席其第一次會議之六十三協議會由兩院委員各選委員 一名每會更代主席其第 第六十五條協議會之議 主席不在比較之列

表 安 法 法 法 表 法 表 之 之

躬率一

軍川駐

事。將軍日。 吾往 批他人之戰。 游酒國°余是時年甫弱冠°茫然從之°余少壯時。 遇青州從事幕下客。 導余 酒色雨● 勉與変戰o 見余。亦志禮貌。須臾布置酒陣。 陣以待。余見後。問友人日。 知以交战。 及ここう 分對點。余量本如蕉。入其間不得脫。 分對點。余量本如蕉。入其間不得脫。 次則 戰具者。妙指耳。何足懼點。 大敵也。友曰。彼雖如此。但所恃以作 · 余偕友入其境·見將軍· 頭作三介之避。愈戰愈怯。 全 催 設 責。 余亦一一與之戰○戰舉復欲余 戰五合而止。 接續而起者 存 帝 即 軍 命 。 余辭非驍將。 不敢違分。 分 一 於 戰 之牌 。 發 年 在 少 幸將軍初 **兼年在少** 胡為如臨 率酒兵器 必致噴

日然O科目。 之疾 濱 横 IE 銀 金

資本 公積金 盂買 北京 神戶 布哇 東京 支 喀達 長崎 旅順 以認 香港 遗赐 百 里昂 上海 天津

乘船 票出· 往 日 望艙 飾設

各幽

五月十七中午開 六月十二上午開 八月十二上午開 九月十二上午開 輪船 大月初二中午四 七月十九中午四 七月十九中午四 七月十九中午四 九月十六上午四 九月十六上午四 開閉開開

中票一定的奉天戲嶺長春香山 大瀬州鐵

頭非務 大連支店(四六〇) 由大連

口金六十四圓(來往)四四十圓 上海開 大連到 上海到

五三三一一次共四

(陰六月廿三日)

七月廿六日

海

定期廣船

加加

東京大險公司明治大險公司

也至於保機管

建设设施的企业的企业,在1967年的企业的企业。

次選出之以得票較多數

早雅 降官 營的口女 安東 起

不待國民督責即返諸本 小振之原因由於本

意存製用 提出否認至再至三夫賢才之士就不要情 度擾間間循責返射員坂何極一年以來國中 意於議院、議院、果请白乃心協商共濟則物色一國最 國民一言夫用 亦豈能一日卽安者雖然政象不 不大總統受國 民付託之重承乏今職於茲經年國基甫定 心事安可則且施政程功在明黜涉一度政府成下未受任而動已見搖劇延攬益雖為力降以求實勢所逼踪 志事安可期 出本大總統為國澤才尤深兢業道據為法必須求同 通動需數月求才則幾產升穴共事則若撫縣兒和 7使荷一國最重之任善後之業或尚非 難乃自憲見既與 八實行政之本 由於各方面形格勢禁者亦牛謹述甘 而國務院爲大政 近 羽毛 高之 黜斥 相責

皆宜有責今飲濟此時艱勤求治道條理雖多本原惟一首在規 積重之勢非旦夕所能驟回而轉圖之機在各方 復政令之紀綱建立國家之威信此本芍撥他復何題本大總統 辛加苦冒險犯難突此國基他日作共和幸民扶杖山 谷以觀治化庶遂初志敢告有衆此令 許謀覆國家之凶徒得以自恣冀與邦人諸友含 所求監獨不忍五千年神則古國題發自我但使一息尚存 艱何遽無術所冀國人共宏斯願本大總統老矣六十衰翁 復何天下之才共天下之事則挽墜日於虞淵完漏 舟於駭浪雖云甚 痛悼其安得已富茲干釣一髮之會或亦除舊布新之機万將集 叛黨 的破壞民 國惟本大總統責 常保之叛黨欲塗炭生實惟本 昔以仁柔姑息延茲属階今當勇猛精動贖彼前恩 大總統責當派之乖涕伐罪掬心質天紀網所緊威信所關雖懷

·國之難復見於今猶庶幾日 本西南之師可以倖免俯心逕就 竹露籍 為與 接的長 官而口器 安從而得 既有 前南京留守荒與自辭卸漢粵川督辦後回滬就醫本月十二日 義出示叛立自稱討袁軍總司令其與湖口李逆烈鈞電有江蘇 松叛兵歐擊飛 隱兵艦在霄狀殺要塞總司令吳紹祥講武堂副 宣布獨立足爲公處聲接之語又选派叛軍攻擊韓莊防營置其 忽赴南京第八師照煽惑軍隊追脅江蘇都督程 死黨柏文蔚盜兵臨淮陳其美圖佔之海唆使吳 心分 豺虎之所不食有 吴之所不容查黃 興亡命鼓吹本以改一良 沙亦所不憶必欲破壞民國糜爛生民而後快遊坊阳著 長蒲鑑要塞掩護團致練官程鳳章等多人並在滬聲言外人干 他全同談作屬母德全難寫赴滬黃興祖用江蘇都督名 政治為名乃凶狡性成竟於已經統一之國家甘 懸賞緝拿遊首其曾從之徒有擒斬黃興等以自 獲證據 未經宣布冀其良心未死或有悔悟遷善之一 照公信票數百萬派人**運動各省軍隊政府雖查** 然心痛凡我軍民怒目裂毗著馮國璋 張勳迅行勵辦叛兵一面草菅人命因一己之權利毒無限之生靈播徒流離 本大總統惻 日乃政府徒蒙容忍之名地方已遭蹂躪之禍該黃興陳其美柏 討賊比問金陵城內焚戮無辜又覇佔交通機關敲詐商人財物 文蔚等明目張膽倒行逆施各處商民怨恨切骨函電紛紛要求 义遣暗殺黨至京行刺被獲侵蝕 南京政府公欵以糾合暴徒私 裂目南京留守取銷以後屢遺叛徒至武漢起事不成

類可推本大總統非敢陳訴艱窘希圖該卸亦欲我 國民知動成違法以云任責更安取裁 凡此諸端畧述一二其他百舉循 佐領請准予接襲等語應照准此令陸軍總長段祺 瑞呈核覆正紅旗臺

請予准補等語應照准此令 司法總長許世英呈稱雲南高等審判廳長孫志會呈請辭職孫

正在準備中

上

志曾准死本官此令

北京

多外交團拒絕滬商會之要求 。

遠一件劃定為中立地域與外交團於二十四日關於 此事時開會議當經議决將該要求一併拒絕 岑春煊李平書陳其美等頁由上海租界 - 腓 驅逐又須以該租界為中心點四方均至二十英里之 上海的務總會電致駐京外交團署謂孫文黃與

多海車總長率艦南下

赴上海。 一十四日海軍總長劉元雄率同軍艦四隻由煙台駛

北軍因東亚同文書院房屋於作戰上妨碍不

機關報則逐一被封至二十五日止殆無隻影北京檢察廳對於京師國民黨加以壓迫若該黨 久强迫該黨理事長吳景廉將該黨議員 京師國民黨被迫情形 。 京師國民黨被迫情形 人名電碼不確)等削除黨籍

紀偉

大總統求

才若渴固願禮維各部總長愛屋

紀綱無自修明政本安能澄肅至於各部司

四台挾功者亦宜分其给 中央製着既已若是其在

·類唐藩之留後 威令本自

過安從責課

脚亦嘗再四思 難實不願漫然變置

が解説不願かい

7. 簡命朝 頒

督總領軍民來以光復元謝遂乃員除受事等

彈冠相踵濫竿日多政務護脞當局固責無可辭

仕途

她動言引退別

提以圖補缺通過艱於登天挽留月難追論

貽笑萬國自 不敢妄以大 甄別施 諮

百僚

· 」 | 選民黨各報全滅

國民黨各報全滅刻已各報館同人最終告別 之辭出惡兵多數 見措詞尤極悲痛 得不聽命他日若有再生之一日富振剧精神以與讀者相 來命停版同人等能力簿弱不

·議員被逮者相踵

學予復上自諸司下

逮州縣皆

经圖治寧吳面墻誰

生厲階至今為梗廓清無狀私衷固

日趨浮

%退難馴致法紀 視若介 髦 名器

人皆革命元勳啓口有功民國人屬

議員被政府違法逮捕者陸續相 繼城京外 不直長政府之所爲憤懣袁政府者因之漸多 砂被逮者十四人 。

所推荐者 張勳因受宗社黨煽惑 態度變更行動可疑袁總 · 張勳有受宗祉黨煽惑之說 · 一十二日照問巡警多名前赴粤省俱樂部 係國民黨員所組織者 一併逐補而去一時人心顧形恐惶 兩院議員及官吏 旋將孫文

之影點倡爲無資之游談國稅展徵而展抗外生

回清之末葉 久歲人之不敷一年以來原有賦稅地方節節截留

川感情

黨紅布告遠遊咸使聞知此令

(七月廿四日)

贖者 小子賞金自拔來歸者勿究前罪本總統但問順逆不問

上倫以計能者能無分誘王如治國大經興財爲

於孤注稍藍急公之聽轍蒙專擅之譏責無從預政何自行

家四条让片

土義庶政皆藉法律以行而

會紛

任命田中玉兼署曹州鎮總兵此令

任命商德正暫行代理直隸渤海觀察使此合

任命黃培松為而口護軍使此合

條經月不能頒一律

能滯停政府措施臅處

命李乾路爲安徽長江水上警察廳長應照准此令代理國務總理段祺瑞呈稱據安徽都督民政長孫多森呈請任

統憂慮不置

旋貨一加佐 否 借風作浪節外生枝以黨界為前提置國命

黃培松授為陸軍中將此令施從濱授為陸軍中將此令

陸軍總長段祺瑞星核覆正紅旗蒙古都統擬以景璋補驍騎校 瑞呈核覆正紅旗蒙古都統擬以瑞全承襲動舊 南軍乘勝進駐運河之北提衝入山東腹地現下 南軍有乘勝深入魯境之說

南軍仍不能佔有機器局

前日 一十二一日午後十鐘時南北兩軍前敵相互開槍 間尤極激烈北軍佔碳鐵路沿綫一帶殊死不退至一 四日晨刻南軍不能獲勝岡其所受損害甚於 助駐守機器局軍隊兩軍戰闘在浴桶方面至南土 經半時北軍軍艦用巨砲 及機關砲猛攻北 ·轟毀東亞同文書院之房屋

殆無隻影 無・恙 機器局之戰日以激烈附近土民扶老携幼避難 併被燬損害不淺惟至住居該院內日人則迄今將該書院燒燬開廠攻擊問該書院教室寄宿舍日 · 難民露宿簷下

尤極慘悽 租界者絡繹不絕乃至在租界的舖簷下等處露宿情形 一十四日南軍攻擊機器局 機器局尚未陷落 倘未得手旋被擊

岑春喧現 仍觀望形勢 学春 塩 之 觀 望

南京

揚州徐寶珍因聽從張勵勸告竟去經軍而 軍刻已派兵前往瓜州駐防 多 揚軍進 駐 瓜 州

漢口書 專

卧守正陽關院軍^{現已}佔領類上 縣現正與 院北方面最近軍情 嗣冲軍隊相互對時

開設在鐘 南

擬定本月二十六日 開市至八月初三日

匣子二個銀表等物價值從二百元至二十元之許该百百張應得品物特中金表三間實石金手成子二十個戲貨样三元特贈彩票一張共計五千張頭彩以下各彩該敬敢內蒙縉士納商軍學各界貴婦人等移玉至本行買

的(為)望長四

| () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | (

图宫藏书后官

erati

6小年民 京

60° 555

e is

大四里面

四篇

the sta

E E

k

AE

於人称 1

ki 8 4

東松巻 11

4 2 1

河谷原 - 4

K BA

SE D

三十二

ON B

名河川

妇 鬼 十

K all

體料制 剂

金 果 们

电台周 別

四九二七

綠紫黑號

京南西西

商商

方方方

풺

求行鲁玄

見能業失

長出折不夠

官軍本得法

著古凶凶

長大聲奉

意連口う

b E+

設太

大丽明

11

。 版 次 方 形 職 告 退 數 行

警者華俄公司先前 等者華俄公司先前

學畢業

陳崇光大律師啓事

E

界林日

血肾不

並止新

治

之

贩輸

賣入

DI

電長

HH

寬小 安孫留伊海千卜買斯北蘆北瓦長天甸北大東家守通 金 夏民井 林房甸縣何堡東臺營州城寨包街府子臺子店河律

沒錢亭 婆兒打 見他哥哥 及錢哪途他就不 世帶回來的 亭榆忽然看 一族 他随把良心往懷惠 他老婆兒有 來了 恐怕 常常兒帮助他們 香間田產了 倒把自 如此說

ELINICOINA ELINICOINA

弟又常來借錢 這時 已經花 候兒 我也常把這筆 **爬**又說道 很 移敬 7 我終替 他 自 說前 者级了 時亭 正則我 提我心 棒兄 天快樂 後躭憂 的 意思

已另外

已經

政人

不到

华

孙之八

--

姓徐

他塗

口答應

歷量這個 **卧他不要三心二意** 成親事 兄弟極

希智能途臨新蓋哈懷本法東大八大鎮張旅水 子石 中江城 爾德溪庫平東角狐安家順陵 堡縣岳縣縣所平濱縣縣觀縣清臺山縣口口馬 天恆供公京若同永世永永恆德萬利利晉顧天 與與與順和發令總昌順盛與與源升源川慶與 和泉裕當長與利堂隆號德合永台鴻遠店和元 洋治鄉高 腹種痛者此 立心即多種見暗陸婚事

世族特別自身情景

CHANGE OF THE PARTY OF THE PART

漂

參天

大藥房

本店新

張之始各貨

概廉價出售

目列

行軍

用

金金

及炮等

獵

摩捷爾手

槍

The state

111

離

0

◆不年稿 付再 新牌唱 鄒此 **曾犯**疾 虛惡 心樂 洋每經從心口專

再可存缩傷 者退付飲 協回售食 虛 號立洋不百 築時入進損 包传角服縣 内築一此論 均付封戰男 有錢十即婦 官决付能遠 發不價立年 告食洋効近

加州商告天保咨放示人 如各冒止的 有省濫私業無商准行業 之趨該射入已 徒會寫自照發

0

结

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

ではない。

AND THE PARTY OF T

. . . .

个有不能保全其生命者心 你不乏人果能於初起時後 際疾者甚衆其中因是病而

FOPIE

按兩股兒分派的沒他兄弟個人

兒

寄信

他兄弟亭

十自個財際期

後來雖

幾

這回

幾

*

年冬天

進幾

有三

ŋq

Éi

他母

管理家中的事情

他母親期

來是

服务信給他

在

信

-- , PH

又是極怕事

椿

八沒有信回

來

給他掌管了

完

外面

E E E

逐

他母

為人狼是好險

他們

父親死後

幾所兒房子

奇冤巧

 Ξ

殮坪

凑

經怕

的丁

不

邃不

等他兄弟媳

兒

L商垂

韋

現廉當士

炎大

見他兄弟媳

婦兒

談完

就跑出去了

念似藥體師其於生幼者之不延兩腹宣紅子

毒風疹濕疹頑









B

特

告

而經过費務

初必從 反特為奉備不為但有 該應題

中國語八十四點

香裝(些

种裁等引移欲委任茂林賓館電話七十

本律師代理者

經理人徐錫九

仝

[特別後]] 店 類貨商 門理路西斯有連手的歸本

宜向 鑑

認損失 帶銀 有意嘗

大南邊門 共七十

色家

有願

113

天埃及

所已成 公 随為 **全**

分設

藥火槍 販 更公開 廣

犯榮謹之者少津遺以愈 質等查守以共去切不愈 所看趙長醫和大以特下

己再将諸君

國電話

百二十餘

認樣別談

手銳軍

六四二番號

僅限於一

子賛成許可逐年所施送於惑善事業之金爲數題巨實出於吾

人豫想之外《店不勝處激然本金分配之法誠恐未得平均或

部分不無於他端消耗之處份派大方諸君原諒

敞店

本店前者所售小包牙粉自加入慈善黑後頗蒙各界

諸大君

論人利之之

勝数数

級天下灣馬用水磯路級





漏食物

維難欲得美味根牙

無用

國求選採辦精良考察製合金剛工

擇精良牙粉滋養固

原

身體健否多由牙頭

否須保牙

患但人往往誤爲牙

粉

之後否齊傷牙齒而後患實非淺

益於衛生前是歐美諸國

發售

用滋養牙根能

永無牙痛

各處洋廣貨店

魁占受金銀貨牌之名譽品

位優強

倘蒙士商

賜顧

者

請認明

尾

25

謹

東京

大

阪

號以免魚目混珠善用方信言之

總金額內核算之為

再同上年間附有善票之獅子牙粉空包一干零七十四萬四千八百包所兌換之金额

萬零七百四十四圓八十錢一厘

之微衷是职

本慈善黑兌換未盡之公的人並以一致所用法 金額之總數共計貳萬四千一百六十八圓六十一錢六厘 **旧**自明治四十五年一月起 此 年 八 1 包 加 子 牙 粉 六百二十六包於該慈善票 茲證將第十一次次算報告於實用諸君

爲可東京本店謹拜嘉 特於附入慈善票之小包牙粉售出之數尤多逐年增加無已故所收入慈善票之金額亦日行澎 概之作無効至本金額辦理之法則專望愛用 本店所製獅子牙粉品質優良實為衛生上量佳之品幸蒙各界諸君子嗜獅爭為賞用銷路日宏 所除應分與之額爲一萬二千四百二十二圓八十二錢五厘除扣除外面爲 諸君子同情深厚敞店深為感激惟此中尚未兌換者甚多於敞店素志殊形缺陷 諸君所賜教言 諮君賜教而投人該企於最適當之慈善事業中

至八月十五日止茲者無禮將第十二次次第明確報告聊酬 一特此敬自

大正武年

東京市神田區柳原河岸

店 支那分行、天津、漢口、上海、名 古 屋 市 四 區 傳 馬 町大 阪 市 東 區 博 勞 町

奉

東二省

張都督赴吉之 因

政策云 督訂於今月二十七號)乘北甚危險不能不預為防範聞張 之俄兵又未退完關東一隅勢 逆有乘機南下之舉齊齊哈爾張都督昨接中央來電客謂庫 **滿**溪 車赴吉黑

電請加 經費照准行政

三十萬之數開支尙可勉强敷 民政長擬定每歲減去十萬照 計須四十餘萬相去懸殊即竭 奉省行政經費經財政部

即以王少將充任東崇鎭撫使天縱來電請纓昨國務院提議 泰安來電堅辭適陸軍少將王接以趙次珊充任因趙上將由 擬以趙次珊充任因趙上將據京函云東崇鎭撫使前政

•縣知事之權限

祭使與縣知事之權限現據各 屬呈翌至有黑同特又擬定辦

の大四世四人人を発展の

さんだい ()

七月二十七日

川水園本川

THE

37111 51111

11]35

SIN B

K OM

OMEK

; 四点

*

KKK

元王夷

中四二十七日

中二11十十四

程語)

二月七陽

一八三五

"東東中

专方位

KO*

1.十5 200

コニニ十十四日

購

二十七師師長張雨亭近以該 門有機關槍隊數連究未完備 一營需用機關鎗二千枝必有 一營需用機關鎗二千枝必須 一營需用機關鎗二千枝必須

多參謀部對于蒙

形進外力謀分行於籌部

的會電稱此

員未行公· 根於公· 根於公· 金 政腹 發放

李

成長湯閣臣接到陸軍 「中国二十七師師 原因 「原因 「原因 「原因 「中国二十七師師 「原因 「中国二十七師師」 左陸師 · 憲章究被 電部來電 長張雨亭

公督軍工 池· 旅• 長•可遊返云() 一師范族長日 一師范族長日 () 政 昨 志 即源表

曲期以國 中·鴻滿東稅征³ A 知·年遺 **廳籌備處處** 事。君前在 新。往 地院長巢鳳崗君 地院局局長賈君 地院局局長賈君 一接辦矣(制)

豐縣 発 事王荷被 以現值青

公署各員新金 公署各員新金 公署各員新金 公司籌得數明 张月 一時 公司等

車 杜 稅 ● 站絕捐稅• 貨河整 物北頓 之京國 出奉稅

责 方可 建 召 集 君 課 君 學 表 司 是 謂 是 司 是 謂 是

一同件起程乘南滿草赴齊齊哈亦同里茲以該堂暑假將周期滿定於下是 回星则回

學業云 如见院自開辦以來承各界之贊助歌納 如兒院自開辦以來承各界之贊助歌納 相對者尚不乏人聞該院長榮君擬在院 機養幼孩者均可送麥濟養室寫之代卷 態院長一片慈心其積屬當無可限量 (中) 卷力院納

防警司播帶情肥 近恐報紙揭載真像T 辦理各種政務純用的 岫岩縣知事李某自己 不驚所杜投自時掩有衍任

語運對 鋒廢調岫 即弛缺縣 專臺爲一 政練所裁汰學生 阿署任所云(五) 阿署任所云(五) 國人

●審計處成立已閱兩月內部組織業經 完備茲閉畫伯田處長日前與各科長科 完備茲閉畫伯田處長日前與各科長科 完備茲閉畫伯田處長日前與各科長科 完備茲閉畫伯田處長日前與各科長科 共計二十和每種附加說明頗合各官處 之用現在裕東紙局付印約不日即行題

图 秘 民●書抵 本外o部

法院上,抵旅船上,

禁虚惑撰者投議配一主以為名持毫要者論且斌義來

医自带同巡役第安房間次 以防範律演問派省順員 電●查

能 症 指 個 元 云

外交時報 一 交 時 報 記 長 型 長 型 長 型 長 往長抵•章前小勵•晚 長偕 揚任木期•回各大旅•式九官章•申官同氏拉 館岩 在干

判官代表明 連處景

中來官有•日

員舉永大誌倡 行十文

人從奇品

心中探客

心之图 不說求 李天近 下聞 事觇之尤信

以已文收屬行稅

下以六党 以好百至 致商有十

表辦于令謝職致一取于委該日

后守該會等達於七月二十 一体知照云 一体知照云 一体知照云 一体知照云 ●會議車備與以內省又起亂端 音省軍使現以內省又起亂端 等上級軍官十餘員在護軍使現以內省又起亂端 至午後一鐘始行討論之問題數端直 至午後一鐘始行討論之問題數端直 平俄業已開戰者甚至已調驗 與正嗣印嚴禁醫廳證廳長以宋督去 與正嗣印嚴禁醫廳證廳長以宋督去 與正嗣印嚴禁醫廳證廳長以宋督去 與正嗣印嚴禁醫廳證廳長以宋督去 是與正嗣印嚴禁醫傳 與正嗣印嚴禁醫傳 與正嗣印嚴禁醫傳 是與大力猛致將不被變用 與一次 與一次 是與大力猛致將不被變用 與一次 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不不 是與大力猛致將不 是與大力 是一大力 是與大力 是一大力 是一大力

古区古古 型 自 即 **个七日** 日點下 中战牛

100

大會議·

V

統資報酬

境己漸有端倪不**日即可**成 参川 否 公敢召集 粉合經營事會 會係全境農務機關內部 必須全体認可 一後阻力橫生 有鑒於茲特發出 泉城

+ =

一七

歷

事交卸背虧欠罪 縣知事旋阿 **羟顿財政之際** 7.茲間會算畢 會算關滿已 於日 電邀前任

では易い 起見特派該 集該 哈埠俄貿易公所以俄國近 世早送俄京國 織分部刻正 木詳論商務退步之原因 一意見著有新 聯絡各界 事季 擴 君

職員會到會者 衆議決於每星 黨務之進行於日前 分部自獨立 特 開職 經 來

变

方爲完善 定難收效 會議

定述

上午

--

岡道マ 人來黨十二哈務

天

第一醫察署一分

第二醫察署一分署巡宫糧某因搶案 一醫察署一分署巡宫糧某因搶案 一 治 案 匪 与 徒拿 獲馬 次 員 禾

經手 寸織 子據已經完 並悪懲張奎 智殿打量 思請公開 知因何

则言"、 是所氏為妻初町 作與其配稱進下一 是那度待前子。 者日 柏 報 年 昨 四 上 由檢察 衣服 許及患傷 **促 勘** 岩 勘 6 其案作書匠訂 忠战内 力驗四無 笞肌 症 死• 人拍 云最毒 H 之釘 安徽人 壬 婦 稍 南 門執該棧 興助意 有 心 就 禁 禁 長 長 長 長 長 執立

昨大 連同 捣 0 廳 若被腳干管未 經該警兵 經戒斷日

而來某 化不死 姿色正行問遇 小河沿北胡同 H 前 尚 調戲被該婦 1 欲 敢為綿 一頭戴草 延遊値 破 抱行 頭路口帽來 豚尾少 大鳳 增 風 質 數 而 人 長婦 某甲徑 重和 迤

●惡搞引誘良善 ●恐搞引誘良善 陽 來 母 奉 牽 老不能行 至 三 老婦沿 為負行 討一 自中 言年

律月之 一

所 法提補一 也可望 中廿 理解技模 心忍 之 被引出 受近聞又 責執身 **芝** 者業已入 **派** 逐 整 逐 45 港 某 以法 某公心烟

邪教感。 海

ZJ.

來

城

前年

有

党 恐於 於 於 所 第 時 突 午見飾突 若干迫至 命 道至驚醒小偷數名從

賊

E

違

逝

简

而

初 果窃江去

入九

晚十

一善於裝死云 死後經該主人 乞丐 **途聲稱如不** 之前以 待 二枚 喪弊 給 宋 歪 脈 髮 計 去觀 灌以 缺四五 此浩刦 義調本 二厘五) 之初 年天下 張胆派 俟有 納拥

地外死

算

乞丐

始

者如堵俄 大西門要 下 大西門要 %人有碍麥通强迫 質以為怪仍多仰觀 一 ~ 聚衆觀蛇 小西門甕城图內之东 小西門甕城图內之东 蛇● 多仰觀 一角 解不 層 由 條道前 脳 散去 **战門內**園 根 磚窟內 約日 上不一个前 警觑多闻忽 以者時觀由 元者可 惑人殮財若不 其思弄

二十

去云

地辦事森 來局本 之此蝟 發達定必日新而 月 異 築有每起 姐集 晚遊 的 來擬此欲 禀 嗣

備

牛莊已二· 中莊已二· 頗形 雨各處田禾暢茂 幸二十 H **=** H 達號不 農油變 夫然甘 不作霖 勝害各 折沛地 喜 然 田 苗

城縣懲辦出數會書 7: 單應三九割 强 春 在 一元騰 併兩家送名堡 变並村 海搜拿

連即於二十四號下左 號起程回國▲鎮守 督 連即於二十 察官練習所 四號因事 府民歐部警務課 石 午 三點鹽 名 仓

馬氏二十三號流任▲二十五一切事宜▲新任工料學堂型技館及澡塘子客棧飯館等度 十五號都督府村田衛生科長 於二十 技 師二十 整 隊前邊 四號 四號因 起身 驗查 Ē 公▲ 之 ▲二十五 夫搭 旅是 任 長 設置 號聲署 置及庫 夫 在 院內搭蓋蔣柳惟公 開院內 搭蓋蔣

谷戲

共制学四百餘元號中務至某農大組織等四百餘元號中務記人歷號少餘實際宣 買取圖牌能之害 一日質物體文譜 賭· 雷時日 一 敗但孫即 八亦可謂無欲可以但菜甲之傷。 不問 雕起許要要屯

惶秘銀 有楊秀师 之帳截止記料楊母問句 婦・選・ 老 者向前 向業機 止 算 肆昌楊與

夫無●▼

可可消滅種々認說不堪枚舉似 登五臺山 10 乃爾 為思定即 語宗旨尚不悖器距科該堂近 四處扇或其皷惑愚民之意 大下將大亂處世人民均難免 大下將大亂處世人民均難免 大下將大亂處世人民均難免 大下將大亂處世人民均難免 五臺山朝見佛主雖有災難死 五臺山朝見佛主雖有災難死 五臺山朝見佛主雖有災難死

·哥辦承發更· 後在實與店請客了

處在如近警 長查知即欲嚴重懲罰去合卿二人貪利營私有傳 來倘再日均照 前本報載地方審判 辦王史二人乃自具悔過 阿再有不法之事非 廿領重罪新廳長 Ŧ. 將 丁以外有力情飲也敬邊求經緩

活警· 婦女● 和 前 新 在為內家業那 ▼云頭 工 二家山 畴 不 赞'知 命 該 四同 當婦號住戶 校何不张

吸鴉片 城裡 際被東門巡長佟 電報胡同 終末飛 巡宵其 **送** 数 日戶 咋 趙 南正劉 在氏 偷 即 巡 熬顏 長熟趙 轉等文膏氏 送物林之久

織。 就 。 V

元內搭蓋藤柳惟**谷**角色小司該圖主等**已瞬戲**箱運到 尚到國未在。己 宋 在 到東誌 齊街前 登荒報 學生治遊之結果

將提起訴訟嗣經店友出而關停該生尤 程順客棧擬剝該生衣服用以作抵否則 整順客棧擬剝該生衣服用以作抵否則 以兩相口角其友人將其扭至德勝門內 某校學生某素好治遊所積標價盈千累 還錢始行了

畢程度正復 奥相 將 巳 崔 一甲名照郭體五

溪 -

安奉鐵路巡警 一生差差 一未久 范 長修襄 二分局 安於位即巡升張總 舉行奎 業辭到

●治遊者可以為來 安東某油房王某性嗜治遊與 安東某油房王某性嗜治遊與 小遊者可以為來 中華

結排

將驅法輕塵史

等調說作一百三十五吊清結先交六十 等調說作一百三十五吊清結先交六十 吊其除欠找壓計不付秦某大怒刻不容 被形於口咋將胡某扭至梭內大肆毆辱 在地頗有性命之蹊現已送至醫院將秦 在地頗有性命之蹊現已送至醫院將秦 在地頗有性命之蹊現已送至醫院將秦 秦法庭收押至於如何懲濟客訪讀誌 交法廳收押至於如何懲濟客訪讀誌 赞三 百 日 日 日 大 林 内 經印大

吉

老道謠言感衆

六在雖燙傷庸何

黎苦口婆心髭眉声射校實登臺演說並 飛雲閣霞雲閣校書來自津門甫下 ▲燈影靈光交相● 一视颜色為快批杷花下 前夕第一樓 裝素履縞 月步武玉琅妍伶之意夫 門有愧乃某君謂其在臥 門有愧乃某君謂其在臥 門有愧乃某君謂其在臥 **归有愧乃某君謂** 此並捐銀幣數枚以 水自津門甫下車遊 輝●映●

壽▼

長囊縣第五初等小 松上九學期而各科學和一个學校學學是所第五都等小學校學

更 氓 则 動大妓 武起女 王衝劉 某突桂

觸輪損壞現已不能 断高低不平處較前去 行 勤 矣甫

界

是以杜門謝客以求不復或日有六百零 強度以致下部燙傷紅蓮霉爛頗不自在 技癢懒得本班茶壶一把藏于中衣忘其 是以杜門謝客以求不復或日有六百零 是以杜門謝客以求不復或日有六百零 憂 部·

口 雌 黄吾知其 光聲乎彼以其

金貴實合演弄壽算粮井飯提破恨未觀其全豹山 月明珠文昭歸已演過半 陽歷二十五日余與 不悛改是為添不 雖佳學止輕洋且笑不可 其强喇宛轉抑揚中 未免可 仙姿容美麗苑 知恥者貴質 節唱 《义陣亂七八章 《似閨秀與样 》 公世質去平貴 上度經去平貴

豊

影片

Out all all a

4 3

型孫力 性別

. St.

点类剧

公園道

水河间

全工线 生熟是 1.1263

相特

(准)省

Charles and

供人社

罰辦云

ら軍警奪回・

放回一人**令** 去二人勒索 機層沙云 **於票价晚至二十** 君帶賽兵十 一人令其措辦妥協前往八勒索快槍二杆銀洋一种樹南粮戶馮某家日本 除名

第差接過辦

而後已

及三十

除家共房屋

齊

六棚等處吾華

傳家甸慶昇班妓女素雲上年六月間役人濟良所經領家運動出所改名花四賓原菜官僚以金錢運動新任知事黃清原菜等食品。 拿哈埠烟案前途庸有藥俄人担負保護吾國官員 俄人担負保護吾國 ∴ 稿留難妓女

華商倡辦之流車專件

的該車照常開駛惟為 將道家

界 消

雖失 一発力為 能叮 虚石

而名之以 加之以大 有命名者之作惡劇何也同陞金 唐環實華金寶淫如武后一以本 古現實華金寶淫如武后一以本 一之以大一以與小寶 七以大一以與小寶 七以大一以與小寶 七以大一以與小寶

衛生警察事務所筋衛生工具戶時期難行走加以滿街遊穢不堪入日縣城養猪之戶頗多每屆夏間陰雨

之家務須禁閥不得任意放

▲孺子不可敎•

●郵完

一

●

郵

差

送

一

<

往函君

件到

雖差 無經以

余自愧錢少德缺難邀青樓鹽酚是以椰 藤계遺以釋積悶余本擬謝絕祇以要被 藤계遺以釋積悶余本擬謝絕祇以要被 下樓積習待客類能堪貼人意洵該班中 之特色少頃開隔壁某妓痛試客人污辱 之特色少頃開隔壁某妓痛試客人污辱 之特色少頃開隔壁某妓痛試客人污辱 之特色少頃開隔壁某妓痛試客人污辱 之時色少頃開隔壁某妓痛試客人污辱 是 多務喃喃聲唧唧聲隔窗頻來詢之始悉

▲遼水鶯花移奉裁

查有不衡 雅技張後青逸陽花叢中之俊々著年方 及籍珍重自守芙蓉如面柳如眉膚若水 開雅奏莫不傾倒該妓協同侯金紅王可 剛諾姉妹聯袂來奉搭住舊华康三弄天 陸班大張艷幪一般顧曲者爭先報効是

中普做● "難"

舉 夜來曾有鳳凰棲特為兩君誦之余為之說解元微之詩云寄云寄語東風常灌報呈以大多數之米湯無法調

教之使最

醫之何容稍緩蓋

重病之媒介也

爲京爽如見

順咳愈定

帐管發炎

代理司

各战公司上海茂生津行

CO ITA

10.0K 10.0K 10.0K

11.01 #10.11 10.00

1.11/2 11.45

5.411 A.00 5.82 M.114 11.10 1.54 11.11 [11.43

(1.1.2 (1.1.1 計算

7.0H

元: 10.至) 代記: 0.1項 規則 长:10

1.1年 3.2 5.2 5.3版 以,10 元,14 宋

海(新班)

作来数 11.13 発展 第 12.0 20 第 2.10 20 第 2.10 20 第 2.10

110 1010

(10.gr (次 元,00) (表 长,0) (表 4.0) (表 4.0)

E.A. E.A. E.I.K

00 # #0 # ## \$ 1 # \$ 1

大二四

區包

(10.**፪**素

像

天

治器

納双ラ原用圖鏡句

▲陸海軍而

醫絕監經歸保證

六百二十三號

常情順雜

中小配

包包用

全全!

计 治五 五 錢

盒藥鏡裝式樣册書

組

大信重

各處關名樂房迷

十度貨儲於

旨の信息が成成が近隣収為荷

言屬)

往所在鼓機北三道灣胡同電話二律師李雲與來奉已在高等審判庭

經 理 洋 德 刑註部政民案立准批獎驗方考官醫廳總京北號支案立學醫經業裡門南大設開堂本

君所忠係宮

能迫獲

咳之

根據地

能使

喉管华不放鬆乎

不嗆

能

使喉

即便照寄並入函索且

悫

物扼君之。

未能乎則

物扼住。不但

烟三柳長康東西西農朝紫吉輝阿哈城河春平平豐安安陽石 南什爾 L症 大角滯 E 臺子縣縣縣縣縣縣縣鎮縣林廳河濱魁魚之腹

多手 足麻痺 膚不 食帶

語位于道定或電車中常見貼頭痛膏乙婦人 顏貌痛苦一是重 有憂者此何以故豈是等婦人多思頭痛 也軟性頭痛何故多患 類候變萬物之機能亦變故此時歇斯 垤 里患者亦因之而加增 女子禪歇斯垤里又亦可以歇斯母為神經衰弱盖春秋兩季 女子禪歇斯垤里又亦可以歇斯母為神經衰弱盖春秋兩季 之進步乃知因其罹 4 殖器疾患異常憂心致起神經痛 等症候 之進步乃知因其罹 4 殖器疾患異常憂心致起神經衰弱盖春秋兩季 之進步乃知因其罹 4 殖器疾患異常憂心致起神經痛 等症候 垤里而

庭不和喪子過痛及凡精神與奮過甚亦 小時 多患之就中由生殖一人後 貧血衰弱等又因家

砂夜 頭痛 脳思想血 而作于 起事 和 來 E 易 起之頭 時 室 訓. 主 覺眼 兩眼難合通宵不症尤甚晝間雖在 不能辨色是 黑暗身體動 坐且厭 而後變

氣即

10年美國不不可 10段開業**各体**問 調車 A. 10. 11. 25.

多失感覺不覺

常痛 虫縫 經不 走納 麻別 走納 痺香 之嗅結又 果因 物麻 色盲 上瘅 嗜好變更非熟能言語此外皮

50/